

新型コロナウイルス感染症に関する意識調査 第3回 調査結果のお知らせ

このたび、パチンコ業界に特化したマーケティングリサーチを行うシーズリサーチ(本社:東京都台東区)は、全国のパチンコ・パチスロ遊技者を対象に「新型コロナウイルス感染症に関するパチンコへの意識調査(第3回)」を実施致しました。

本調査は、新型コロナウイルスにおけるパチンコ遊技者の意識や行動に関する影響を調査したもので、5月より定期的に実施している調査の第3回となります。

つきましては、本調査の調査結果についてお知らせ致します。

【調査名】 「新型コロナウイルス感染症に関するパチンコへの意識調査(第3回)」

【企画・実施】 シーズリサーチ

【調査対象】 ・SC: 遊技経験者 4,795ss (遊技者 3,639ss)

・本調査: 緊急事態宣言解除後のパチンコ遊技者(月1回以上) 500ss

調査項目

- 緊急事態宣言解除後の遊技参加状況【SC】
- 緊急事態宣言解除後の遊技参加状況(年代別・頻度別)【SC】
- 新型コロナ流行前と比較した遊技回数・時間の増減
- 新型コロナ流行前と比較した遊技回数・時間の増減(年代別・頻度別)
- 緊急事態宣言解除後に遊技回数・時間が減少した理由
- 緊急事態宣言解除後に遊技回数・時間が減少した理由(頻度別)

調査結果トピックス

- ・7月時点で遊技者の約6割がパチンコ店に「行った」と回答、6月から約2割上昇。
- ・遊技頻度別では、ヘビー(週2回以上)の8割近くが「行った」と回答。
- ・パチンコの遊技状況:新型コロナ流行前と「変わらない」が最多も、減った割合のほうが高い。
- ・パチンコの遊技減少が顕著なのは、年代別で60代以上、頻度別でミドルライト(月1回程度)。
- ・パチンコの遊技が減少した理由:1位「コロナ感染が心配」、2位「負けそう」、3位「周りの目」。

詳細は、下記より調査結果レポートをご確認ください。

http://s-research.sees.co.jp/corona_report_03

【本件に関するお問合せ先】

株式会社シーズ シーズリサーチ 担当:杉本

TEL:03-6806-0548 MAIL:sugimoto@sees.co.jp